

この事業は「(財)
ひょうご震災記念
21世紀研究機構」
と「ひょうご安全の
日推進県民会議」の
助成を受けて実施しています。



特定非営利活動法人ええうた工房
混声合唱団フロイデンコール

ひょうご安全の日推進事業

第2回

震災を忘れないメモリアルコンサート

2008年 3月16日(日)

午後2時開演

兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター

ごあいさつ

NPO法人ええうた工房 理事長 笠井明

本日はご来場ありがとうございます。私たちは音楽を通じて、地域に根ざした市民参加型の活動を行っています。一步一步、活動を高めているところです。メンバーも、経験者も少ないですが練習にボランティアにとがんでいます。今回は、「ひょうご安全の日」推進事業の演奏会です。これも社会活動の一環ですのでご理解をいただければ幸いです。

「兵庫安全の日推進事業」とは

阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れず安全で安心な社会作りを進め、国内外の災害の被害を軽減する為の事業です。（「ひょうご安全の日を定める条例」は2006年4月1日に施行されました）

Program

〈 1 部 〉

W.A.モーツァルト「レクイエム ニ短調」K.626（抜粋）

1. Requiem
2. Kyrie
3. Dies irae
4. Rex tremendae
5. Confutatis
6. Lacrimosa

〈 2 部 〉

林 光「混声合唱による日本抒情歌曲集」より

- | | | |
|-----------|--------|--------|
| 1. 箱根八里 | 詩・鳥居 忱 | 曲・滝廉太郎 |
| 2. お菓子と娘 | 詩・西条八十 | 曲・橋本国彦 |
| 3. 待ちぼうけ | 詩・北原白秋 | 曲・山田耕筰 |
| 4. ゴンドラの唄 | 詩・吉井 勇 | 曲・中山晋平 |
| 5. 野の羊 | 詩・大木惇夫 | 曲・服部 正 |
| 6. 早春賦 | 詩・吉丸一昌 | 曲・中田 章 |

〈 3 部 〉

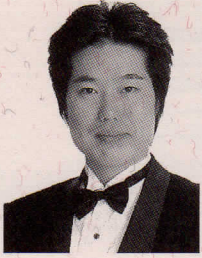
信長貴富「混声合唱のための宮崎駿 アニメ映画音楽集」より

- | | | |
|----------------|---------|--------|
| 1. もののけ姫 | 詩・宮崎 駿 | 曲・久石 譲 |
| 2. 君をのせて | 詩・宮崎 駿 | 曲・久石 譲 |
| 3. いつも何度でも | 詩・覚 和歌子 | 曲・木村 弓 |
| 4. めぐる季節 | | 曲・久石 譲 |
| 5. やさしさに包まれたなら | 詩・荒井由実 | 曲・荒井由実 |

指揮 大谷圭介.

ピアノ 宮北昌子

合唱 混声合唱団フロイデンコール



大谷圭介 (Br.)

京都教育大学教育学部数学科卒業。京都市立芸術大学大学院修了。第39回なにわ芸術祭新人賞・大阪府知事賞、第7回高槻音楽コンクールにおいて第1位・高槻市長賞、第19回摂津音楽祭リトル・カメラ・コンクールにおいて奨励賞等受賞。オペラでは「フィガロの結婚」「魔笛」「コシ・ファン・トゥッデ」「椿姫」「カルメン」「ジャンニ・スキッキ」「テレジアスの乳房」「ラ・ボエーム」「セヴィリアの理髪師」「ナクソス島のアリアドネ」等に出演し、いずれも好評を博している。2004年6月に関西二期会本公演「フィガロの結婚」(指揮：広上淳一、演出：鈴木敬介)に伯爵役でデビュー。2008年5月には同本公演「セヴィリアの理髪師」(指揮：現田茂夫、演出：栗国淳)にタイトルロールでの出演が決まっている。2000年には京都市・西安市友好都市提携25周年記念訪問に音楽交流団として参加、現地にて訪問演奏会を行う。合唱指導経験も豊富で、アマチュア合唱団はもちろん、その的確で明快な指導には定評がある。近年では、「ドン・カルロ」「ファルスタッフ」「トスカ」「ヴェルディ・レクイエム」のいずれもコーラス・マスターとして公演を支え、共演者からの絶大な信頼を得ている。声楽を饗場知昭、蔵田裕行、G. Tadeo、田中勉の各氏に師事。関西二期会会員。

現在、島本混声合唱団指揮者、京都混声合唱団ヴォイス・トレーナー、男声合唱団Des Eleisons指揮者、「MBS1万人の第九」指導者、コーロ・ヴォーチェ指揮者。京都教育大学非常勤講師。混声合唱団フロイデン・コールは2006年9月より指導にあたっている。



宮北 昌子 (ピアノ)

京都市立堀川高校音楽科(現・京都市立音楽高校)を経て京都市立芸術大学音楽学部音楽科ピアノ専攻卒業。ザルツブルク・モーツアルテウム音楽院マスタークラスに参加、セルジオ・ペルティカローリ教授の講座を修了、修了演奏会に出演。ピアノ・ソロ、デュオ、声楽・弦・管・打楽器とのアンサンブル、伴奏で多数の演奏会に出演。ピアノを山田淳子、故岩淵洋子、マックス・エッガーの各氏に、チェンバロを春山操氏に師事。京都混声合唱団ピアニスト。

《特定非営利活動法人ええうた工房》

2006年5月に認証された特定非営利活動法人(NPO)です。音楽文化全般の普及啓発に関する事業を行い、地域に根ざした市民参加型の音楽文化の発展に寄与することを目的とする法人です。現在は混声合唱団フロイデンコールを中心に演奏にボランティアにと活動しています。正会員と賛助会員を募集していますので、詳しくはホームページをご覧ください。

(<http://www.ne.jp/asahi/freudenchor/amagasaki/>)

《混声合唱団フロイデンコール》

NPO法人ええうた工房が主宰する合唱団。条件が合えば何処へでも行く地道な活動をおこなっている。歌いたい人と聴きたい人のコラボレーションを目指している。約1~2ヶ月に一度はイベントなどに参加しています。入団の条件は特にありません。とにかく歌うことが好きな方で練習にまじめに取り組む方でしたらどなたでも入れます。今年はベートーヴェンの「第九」やジョン・ラターなどを歌う予定です。ぜひ一緒に歌いましょう。お待ちしております。

W.A.モーツァルト「レクイエム 二短調」K.626

この「レクイエム」は、モーツァルトが自身の死の直前に作曲した作品。1791年、灰色の服を着た不気味な男が現れ、「レクイエム」の作曲を依頼した。この匿名の依頼者からの謝礼は高額で、金銭的に困難な状態にあったモーツァルトはこの依頼を受ける。体力と精神が衰弱したモーツァルトは、この不気味な男が地獄からの使者だと信じ込んでしまい、全身全霊を込めて作曲に当たったが、作曲の途中で体力の限界に達し、モーツァルトはこの世を去ってしまう。本日の演奏会の「6. ラクリモーザ」までがモーツァルト自身の作曲である。それ以降の部分は、死の直前にモーツァルトからの指示を受けていた弟子のジュスマイヤーが完成させた。ちなみに、この不気味な男の正体は、フランツ・フォン・ワルゼック伯爵という貴族の使者であることが1964年に判明した。ワルゼック伯爵は、作曲家に匿名で作品を作らせ、それをあたかも自分が作曲したかのように発表するという趣味を持つ人で、このレクイエムは愛妻の命日に自分の作品として演奏を計画していたという。いずれにしても、この世の楽曲の中で、最も人々の魂を揺さぶる名曲の中の一つであることは間違いない。その曲自身の魅力に加えて、上記のような逸話が知名度を高めている。映画「アマデウス」でも「レクイエム」作曲の部分が終盤のクライマックスを形成し、「ラクリモーザ」が流れるモーツァルト自身の葬儀のシーンは印象的であった。

箱根八里

箱根の山は 天下の険
函谷関も 物ならず
万丈の山 千仞の谷
前に聳え 後に支う
雲は山をめぐり 霧は谷をとぎす
嵐猶闇き 杉の並木
羊腸の小径は 苔滑か
一夫関に当るや 万夫も開くなし
天下に旅する 剛毅の武士
大刀腰に 足駄がけ
八里の岩根 踏み鳴らす
斯くこそありしか 往時の武士

箱根の山は 天下の阻
蜀の棧道 数ならず
万丈の山 千仞の谷
前に聳え 後に支う
雲は山をめぐり 霧は谷をとぎす
嵐猶闇き 杉の並木
羊腸の小径は 苔滑か
一夫関に当るや 万夫も開くなし
山野に狩する 剛毅の壮士
獵銃肩に 草鞋がけ
八里の岩根 踏み破る
斯くこそありけれ 近時の壮士

お菓子と娘

お菓子の好きな 巴里娘
ふたりそろえば いそいそと
角の菓子屋へ ボンジュール

選る間もおそし エクレール
腰もかけずに むしゃむしゃと
食べて口ふく 巴里娘

残るなかばは 手に持つて
行くは並木か 公園か
空は五月の みずあさぎ

人が見ようと 笑おうと
小唄まじりで かじり行く
ラマルチーヌの 銅像の
肩で燕の 宙がえり

待ちぼうけ

待ちぼうけ 待ちぼうけ
ある日せつせと 野良かせぎ
そこへ兎が とんで出て
ころり転げた 木の根っこ

待ちぼうけ 待ちぼうけ
しめたこれから 寝て待とか
待てばえものは かけてくる
兎ぶつかれ 木の根っこ

待ちぼうけ 待ちぼうけ
きのう鎌とり 畑仕事
きょうは頬づえ ひなたぼこ
うまい切り株 木の根っこ

待ちぼうけ 待ちぼうけ
きょうはきょうはで 待ちぼうけ
あすはあすはで 森の外
兎待ち待ち 木の根っこ

待ちぼうけ 待ちぼうけ
もとはすずしい 藜畑
今は荒野の ほうき草
寒い北風 木の根っこ

ゴンドラの唄

いのち短し 恋せよ乙女
紅き唇 あせぬ間に
熱き血潮の 冷えぬ間に
明白の月日は ないものを

いのち短し 恋せよ乙女
いざ手をとりにて かの舟に
いざ燃ゆる頬を 君が頬に
ここには誰も 来ぬものを

いのち短し 恋せよ乙女
黒髪の色 あせぬ間に
心のほのお 消えぬ間に
今日はふたたび 来ぬものを

野の羊

野っばらはいいな
いつ来てみていいな

おや 羊がいるな
放ち飼いだな
だが独りだな
いい毛なみだな
見てやるものもないのだな
飢しそうだな
だが恨まない目だな
俺も羊のうまれだな
おや 羊の背に紫の斑が揺れたな
ああ 辛夷の花の影だな

野っばらはいいな
さびしくていいな

早春賦

春は名のみ 風の寒さや
谷のうぐいす 歌は思えど
ときにあらずと 声もたてず
ときにあらずと 声もたてず

水とけさり あしはつぐむ
さては時ぞと 思うあやにく
きょうも きのうも 雪の空
きょうも きのうも 雪の空

春ときかねば 知らでありしを
きけばせかる 胸の思いを
いかにせよとの この頃か
いかにせよとの この頃か

もののけ姫

はりつめた弓の ふるえる弦よ
月の光にざわめく おまえの心

とぎすまされた刃の美しい
そのきつききによく似た そなたの横顔
悲しみと怒りにひそむ まことの心を知るは
森の精 もののけ達だけ もののけ達だけ

君をのせて

あの地平線 輝くのは
どこかに君をかくしているから
たくさん灯がなつかしいのは
あのどわかひとつに、君がいるから

さあ でかけよう ひときれのパン
ナイフ、ランプ かばんにつめこんで

父さんが残した 熱い想い
母さんがくれた あのまなざし

地球はまわる 君をかくして
輝く瞳 きらめく灯
地球はまわる 君をのせて
いつかきつと出会う ぼくらをのせて

父さんが残した 熱い想い
母さんがくれた あのまなざし

地球はまわる 君をかくして
輝く瞳 きらめく灯
地球はまわる 君をのせて
いつかきつと出会う ぼくらをのせて

いつも何度でも

呼んでいる 胸のどこか奥で
いつも心踊る 夢を見たい

かなしみは 数えきれないけれど
その向こうできつと あなたに会える
繰り返すあやまちの そのたび ひとつは
ただ青い空の 青さを知る
果てしなく 道は続いて見えるけれど
この両手は 光を抱ける

さよならのときの 静かな胸
ゼロになるからだか 耳をすませる

生きている不思議 死んでいく不思議
花も風も街も みんなおなじ

やさしさに包まれたなら

小さい頃は 神さまがいて
不思議に夢を かなえてくれた
やさしい気持ちで 目覚めた朝は
おとなになっても 奇蹟はおこるよ

カーテンを開いて 静かな木洩れ陽の
やさしさに包まれたなら きつと
目にうつる全てのことは メッセージ

小さい頃は 神さまがいて
毎日愛を 届けてくれた
心の奥に しまい忘れた
大切な箱 ひらくときは今

雨上がりの庭で ちかなしの香りの
やさしさに包まれたなら きつと
目にうつる全てのことは メッセージ

カーテンを開いて 静かな木洩れ陽の
やさしさに包まれたなら きつと
目にうつる全てのことは メッセージ

混声合唱団フロイデンコール

練習日 2008年8月まで 毎週木曜日 午後7時~9時(ピッコロシアター予定)
2008年9月~11月 毎週火曜日 午後6時30分~8時30分(淀屋橋・大阪倶楽部)
2008年12月以降 毎週木曜日 午後7時~9時(ピッコロシアター予定)
合唱指導 大谷圭介 先生 (関西二期会正会員)
練習会費 月3000円

